

ひゅーまん ねつとわーく

地域に生きる

2011年4月 発行 / 第45号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル 402 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



ぷれいすBe内 ガレット製造 実習中

ぷれいす Be 利用者 福島 将志 さん

この度の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

当法人でも、被災者の受け入れや職員の派遣などを行政に申請し、支援の手を差し伸べております。

今後も法人の社会的責任における取り組みを推進し、今回の未曾有の状況に対し皆様と共に乗り越えて参りたい所存です。

平成23年度

社会福祉法人北摂杉の子会年度方針



社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 なかむらせつし 中村節史

- 平成23年度は第2次中期計画の仕上げの年として、利用者サービスの向上はもとより、計画未達の課題の解決にしっかり取り組むと同時に第3次中期計画策定（キーワードは「質の磨き上げ」）の準備作業を全員参加で行う年とする。
- 平成23年度は今回の東日本大震災の発生により、国全体としてかなりの覚悟が必要な状況となっている。障がい福祉の世界にもその影響はかなり及ぶことになると予想される。そのため、法人全体として従来以上の緩みのない筋肉質の運営を継続し財務内容の安定をはかる必要がある
- 法人の理念「地域に生きる」を推進するため、昨年引き続き、地域の仲間、ご家族、行政などとの連携を強化する。

1. 「ぷれいすBe」の安定化

開所3年目を迎える「高槻地域生活総合支援センターぷれいすBe」は重症心身障がい支援事業の安定化、新規授産事業（ガレット生産・販売）の確立をはかることに注力し、事業全体として年度資金収支の黒字化を実現する。

2. 新規ケアホームのスムーズな立ち上げ

新規ケアホームの平成24年4月開設に向け、今までに培った知見・経験を十分に活用し、行政手続きから建設、入所までの工程を抜け落ちなく進める。

特に利用者のご家族との連携を密にする。

3. 発達障がい児療育事業の取り組み強化

当法人の特色であり、社会的ニーズの高い発達障がい児療育支援事業については、大阪府から市町村への事業移管の過程で、支援体制が万が一でも後退することがないように、法人全体としてバックアップする。

4. 利用者の高齢化とそれに伴う障害の重度化への対応

利用者の皆さんが安心・安全に「地域に生きる」ことができるための包括的な支援体制構築の一環として、「福祉」と「広い意味での医療」が連携した支援体制の構築を進める。

- ①利用者の病気・怪我などでの長期入院に対する介護支援（費用も含め）の検討。
- ②施設のバリアフリー化の検討・推進（短期～長期）。
- ③『福祉・医療が連携した包括的な支援体制の構築』。
- ④法人内医療職会議の充実。

5. 十三地区事業のセンター機能強化

センター機能強化のための管理職会議で抽出された課題、整理事項の具体的取組みを進める。

- ①「大阪自閉症支援センター」での学齢期の方へのモデル的取組み。
- ②成人期の方の日中活動サービス強化のため、「ジョブサイトよど」における「生活支援」と「就労支援」の切り分けによる支援体制の強化。
- ③ライフステージごとのサービスをつなぐ役割部分の検討。

6. 高槻地区事業での包括的支援体制の構築

2年間の取組みを通して明確になった高槻地区3施設における日中活動支援4事業それぞれでの特色を更に磨き上げると共に、他の事業も含め、地域の今後の多様な利用者ニーズに法人としての包括的支援が可能な体制を構築する。

平成23年度はそのための準備に注力する一年とする。

- ①高槻地区の各事業が同じベクトルをもって取組みを進めるために「高槻地区体制整備会議」（仮称）を平成23年4月に設置する。
- ②方針4の活動に加え余暇支援、健康支援体制の充実のため外部機関、地域の仲間とのネットワークを強化する。
- ③ケアホーム、短期入所の夜勤、早朝勤務職員の安定的確保に努める。

7. 法人の社会的責任

法人経営安定のため、「適正収益の確保」「法令の順守」「透明性のある組織と説明責任」「危機管理の徹底」に努めるが、「個人情報保護」「経営マネジメント」の危機管理マニュアルは更なる整備を進める。





「はっぴい・ふれいす Be ガレット」

販売開始のご報告

高槻地域生活総合支援センター

ふれいす Be 前施設長 ^{みず}水 ^{とう}藤 ^{まさ}昌 ^{ひこ}彦

機関誌前号の「ひゅうまんりレー」の欄でお知らせしました通り、法人の新たな授産製品開発のためのパイロット事業として、「ふれいす Be」において「はっぴい・ふれいす Be ガレット」という焼き菓子の製造、販売を開始いたしました。3月末をもって製品が完成し、販売の準備が整いましたので、今回はこの事業の詳細についてご報告いたします。

事業開始にいたる経緯

法人では「ジョブサイトひむろ」「ジョブサイトよど」「ふれいす Be」の3事業所において就労継続B型事業を行っております。これらの事業では、清掃、部品の組み立て、パッケージングといった受託型の作業、「よどのコロッケ」の製造および販売を行い、そこから得られた収益を工賃の形でご利用者様にお支払いしています。授産事業については、数年前から法人内部で議論と検討を重ねてきました。その主な目的は、どうすれば工賃の増額を図ることが出来るかを考えることにあります。

ご存知のように、近年、障害のある人の生活の場として、地域でのグループ・ホームやケア・ホームでの生活が広がってきました。そこでは、障害のある方の所得をどのように保障するのが大きな課題となります。月々の家賃、生活費に加えて、余暇などに必要な費用を考えると、障害基礎年金に加えて、一定額の収入が必要とされることが予想されるのです。もちろん、どのような生活をされるのかによって必要となる金額は変わってきますが、いずれにしても働いて収入を得る手段を確保することは、今後の障害福祉における重要な支援目標の一つです。

この目標を達成するために、法人ではこれまで取り組んで来た「よどのコロッケ」の製造・販売事業を引き続き改良していきながら、

新たな授産製品の開発を行うことにしました。具体的には、前回の「ひゅうまんりレー」にご寄稿をいただきました株式会社テミル様企画、運営されている「テミルプロジェクト」に参加し、ガレット・ブルトンヌという焼き菓子を製造、販売いたします。以下に具体的な準備の様子をご紹介します。

製品開発

「ふれいす Be」の別棟であった工作室を改装し、調理室としました。昨年9月に改装工事が完了しています。また、こうした事業を行うためには専門知識をもったスタッフの確保が不可欠でありますので、パティシエとしてケーキ・ショップなどに勤務した経験のあるスタッフを新たに雇用しました。その上で、9月中旬にテミル・プロジェクトに協力していただいている有名パティシエの方からレシピの提供、製菓指導をいただきました。新たに出来た製菓室で半日にわたって、細部に至るまでたいへん丁寧にご指導をいただきました。その後、新たに雇用したパティシエを中心として、ガレットの試作を繰り返しました。一部原材料の分量の最終的な調整、最適な焼き加減の見極めの2点がとくに難しい課題でした。12月には試作品が完成し、指導担当のパティシエの方に試食していただき、最終的な了承をいただきました。

試作品の完成に伴い、具体的な製菓作業の内容が確定しました。そこで、利用者の方に製菓作業に入っていただきました。現在は2名の方が製菓作業に携わっていただいています。今は生地加工、焼き上がったガレットの個包装を中心とした作業ですが、生産量が安定しましたら徐々に他の作業への導入を図る予定です。また、パッケージングに関わる作業には、より多くの利用者様に携わっていただくことを計画しています。

ガレットの試作と並行し、個包装および詰め合わせ用の箱といったパッケージング材料の作製を株式会社テミル様と共同で進めました。「はっぴい・ぷれいすBeガレット」は単品とともに詰め合わせでも販売いたします。この詰め合わせ用の箱のデザインは、やはりテミル・プロジェクトにご協力をいただいている絵本作家の荒井良二先生にお願いすることになりました。荒井先生はNHK教育テレビなどでも作品が放送されていますので、ご存知の方も多いのではないでしょうか。荒井先生には今回のプロジェクトのために原画を書き下ろしていただき、パッケージ・デザイナーが箱をデザインしました。たいへんかわいいデザインに仕上がっています。文末にご紹介するウェブ販売サイトで実際の製品の写真が掲載されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

これらすべての作業が2月末に完了し、3月下旬には印刷会社から包装材料が納品されました。最終的には、紙製の箱への10枚入り、円柱型の容器への6枚入りの2種類で販売させていただくことになりました。



ガレット 6枚入り

販売

現在、「はっぴい・ぷれいすBeガレット」はテミル・プロジェクトのインターネット販売サイトである「テミマ」およびCafe Be店頭にてお買い求めいただけます。詳細は下記の通りとなります。

インターネット販売サイト「テミマ」

<http://temima.jp/>

こちらのサイトでは、

ガレット10枚入り（税込1,630円）、

6枚入り（税込980円）を販売しております。

全国一律（沖縄を除く）570円にて配送いたします。

なお、サイトでテミル・プロジェクトの詳細が掲載されているほか、プロジェクトに参加している他の社会福祉法人様の製品もお買い求めいただけます。

Cafe Be

住所：高槻市郡家本町5番2号 ぷれいすBe内

電話番号：072-681-4700

営業時間：月曜日～土曜日、午前10時～午後6時（ラスト・オーダー午後5時30分）

店頭では10枚入り（税込1,630円）、

6枚入り（税込980円）の詰め合わせに加えて、

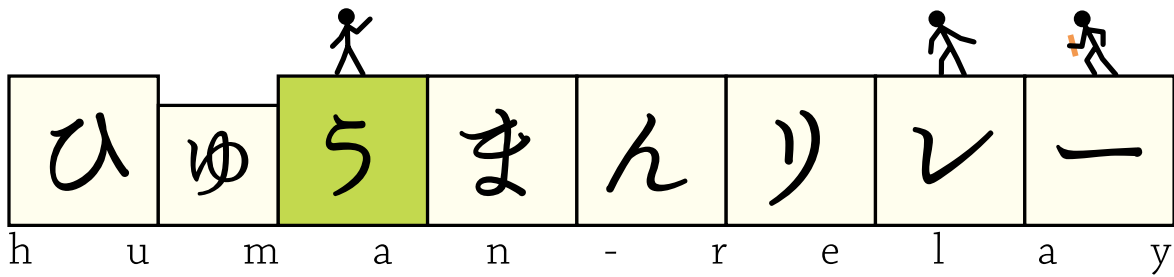
1枚（税込150円）ずつの販売もいたしております。

販売の場所につきましては、順次広げていく計画にしておりますので、詳細が決定致しましたら、法人のウェブサイトなどでお知らせいたします。

ぜひ一度商品を手にとっていただき、ご賞味いただければ幸いです。



ガレット 10枚入り



ジョイコンサルティング株式会社 代表取締役 木村 志義さんより

ジョイコンサルティングの「過去」「現在」「未来」

ジョイコンサルティングは、2002年5月に私が一人で始めた会社です。以来、日本で始めて障害者の方の人材紹介を行う企業として事業を継続しており、今年の5月で丸9年、そこからは10周年目に入ります。人材紹介というビジネスモデルで、多くの障害者の方の就職を実現し感謝もされてきましたが、このモデルの問題点も感じるようになってきました。それは、このモデルが企業からの多額の紹介料を伴うため、どうしても紹介先の企業が資金力のある大企業に限られてしまうことです。そして、大企業には、障害者雇用促進法に基づく雇用義務がありますので、法律のために障害者を雇用するとなると、リスクが低いと考えられている、軽度の身体障害の方への求人が圧倒的に多くなり、弊社にご登録頂いている一部の障害者の方にしかお役に立てないという状況になっております。即戦力で、就職前と就職後のフォローの要らない障害者の方のごく限られています。逆に、必要な準備、トレーニング、フォローがあれば、企業で戦力になりうる障害者の方はたくさんいるということ、日々のビジネスの中で強く感じていました。

そこで、2010年10月より、障害者自立支援法に基づく、就労移行支援事業を開始致しました。これにより、就職に必要な準備、トレーニング、フォローを行うにあたり、そこで発生するコストを助成金で賄うことができるようになりました。2011年2月現在で、十数名の方にご利用頂いております。われわれの就労移行支援事業所(仮称ジョイワークセンター、略称JWC)の強みは、人材紹介で長年培った経験から、企業がどういう人を求めているか、逆に言えばどういう人なら就職できるか、が明確にわかっ

ていることです。就職するために必要なもののひとつは、実務経験です。JWCでは、実際に有料で受注してきた業務で、その方の就職したい職種に近いものを業務として行って頂き、仮想オフィスで仮想の就業体験をして頂き、その中で自分の希望職種に必要な経験、スキルを伸ばしていくことを行っております。訓練業務内容は、ITのシステム開発から、データ入力、経理補助作業などその方の希望にあわせてさまざまです。また、接客や清掃などの軽作業をご希望の方は、弊社のクライアント先で、施設外訓練という形で経験を積んで頂いております。

JWCの強みは、企業の採用ニーズを明確につかんでいること、必要な実務訓練を行うための作業や訓練先を確保するネットワークを持つことです。私としては、既存の人材紹介とこの就労移行支援事業を絡めて、日本中で障害者雇用を広げていきたい、と考えております。とはいうものの、我々も現在は実質東京にひとつ事業所があるだけです。長年民間企業でやってきましたので、福祉の皆さんにはないものを持ってはいますが、逆に言うと福祉の皆さんが持っているノウハウは、我々は不足しています。また、それ以外にも、お金、人、場所、情報、人脈、あらゆるものがまだまだ十分とはいえません。お互いがないものを、お互いのあるもので補い合い、お互いの夢の実現ができたらずばらしいことだと思っております。

私は、世界でいろいろな問題を解決したいと思って起業しましたが、まずは、日本での障害者雇用を、量、質ともに世界に誇れるものにしたいと思っておりますし、そのためには日本中の思いのある人たちがつながることがとても大切だと思っております。

ぜひとも、今後とも、よろしく願致します！

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



大阪市発達障害者支援センター エルムおおさか

副所長 井上芳子 さんより

大阪市発達障害者支援センター（エルムおおさか）は、大阪市障害者福祉・スポーツ協会が大阪市より事業受託を受け、平成18年1月10日に開設されました。大阪市内在住の自閉症（高機能自閉症を含む）、アスペルガー症候群、注意欠陥多動障害（AD/HD）、学習障害（LD）等の発達障害を持つご本人やその家族、支援者、および関係機関への支援を目的としています。

所長以下5名のスタッフが、法律で定められた①相談支援（本人や家族、関係機関からの相談を受け、情報提供や助言を行う）②療育支援（保育所、幼稚園、学校等の所属機関と連携し、問題解決・軽減のための支援を行う）③就労支援（就労に向けて、情報提供や助言を行う）④啓発・研修（パンフレットやHPを活用して発達障害に関する情報を提供するとともに、正しい理解や支援方法を広めるための研修を行う）の4つのサービスに携わっています。

支援の出発点として「早期発見」「早期診断」「早期療育」は不可欠であるところから、大阪市ではまず乳幼児健診システムのシステム・アップと一次診断機能の充実を図っていくことになり、センター開設と同時に市内3カ所の医療機関において一次診断の窓口が整備され、平成18年8月より4・5歳児発達相談も始まりました。同時に、療育の充実を図るために「大阪市発達障害児療育支援事業（3～5歳児対象、小グループでの療育）」を開始。当初は一か所でしたが、平成20年からは北部・南部の2か所で実施されるようになり、「発達障害者支援マネージャー事業」による療育効果の客観評価を実施しつつ、より良い療育プログラムと家庭・所属園・地域への波及方法を模索してきました。その一環として、昨年度は啓発DVDを制作。市内の保育所・園、幼稚園、小学校、各関係機関との共有を図りました。市内療育機関の1つとして貴法人の「児童デイサービスan」ともケースを通して連携させていただいています。また、大阪市内で制作した「発達ノート」の積極活用もすすめています。平成21年より子育てしている相談センターと共催で「ちょっと気になるこどもたち」の保護者を対象に子育て支援講座を開始し、保護者の方々とともに家庭での支援について考えていく一方、やはり平成21年より始まった「大阪市発達支援モデル研究（保育所）」にかかわり、モデル保育所での実践を通して支援ソフトを作り市内に普及するお手伝いをしています。この数年で保育所・園、幼稚園の先生方の意識がかなり高くなっていることを感じるこの頃です。

開設当初は研修や巡回相談で訪問する機関のほとんどが小中学校でしたが、平成19年に特別支援教育が始まって教育委員会に特別支援教育巡回チームが発足したこともあり、学校を訪問する機会は減りつつあります。今後も保護者支援を軸に教育委員会、教育センター、こども相談センターと密に連携して学童期の支援を展開していく予定です。

この3年間、青年・成人期の相談が増加し続けており（平成23年2月末、のべ件数55%）、相談内容も多岐にわたるものの連携する直接支援機関の絶対数が少なく、なかなか支援が進まない現状があります。「ジョブサイトよど」のように自閉症に特化した支援を展開している施設の利用を希望される市民が多い中で市内の社会資源の発掘・協働が危急の課題となっています。

来年度は巡回支援スタッフを配置して機関支援の部分強化する予定ですので、早期発見にかかわる機関とともに青年・成人期の直接支援機関への支援も強化し、各関係機関、各区の自立支援協議会とネットワークを構築し青年・成人期の支援を展開していきたいと思っております。

就労支援については、発達障害者就業支援コーディネータの配置にともない市内の直接支援機関との連携システムができつつあるところです。まだ実績も少なく、開設当初よりいろいろ助言をいただいている先輩機関の大阪府発達障害者支援センター（アクトおおさか）より提案・教授いただくことが多く、今後も堺市発達障害者支援センターとともに密に連携を持ち近畿圏での発達障害児者支援の発展に努めていく所存です。



生活支援センターすまいる

代表 ^き木 ^{むら}村 ^{かず}和 ^み美 さんより

生活支援センター「すまいる」は、平成15年8月1日、高槻市大手町に居宅事業所を開設し、今年で9年目を迎えようとしています。現在、高槻市、茨木市の多くの方に利用頂いています。

また、平成19年6月1日、短期入所事業を開始しました。定員は宿泊8名、日中一時13名、こちらもまた多くの方に利用頂いています。

私個人においては「すまいる」の代表であり、19歳の自閉症の娘を持つ親でもあります。障害を持つ彼らが“地域に生きる”ために、事業所として親としてどうあるべきか考える毎日です。

「すまいる」という事業所名は、「皆が笑って過ごせますように」との願いから生まれたものです。実は、“皆”には、障害を持つ利用者、ご家族とともに、支援者である私たち、スタッフ・ヘルパーも含まれています。責任を持ち継続的に関わっていける人材を確保することが、障害を持つ利用者、ご家族の笑顔に繋がるとの思いからです。

現在、貴法人の多くのメンバーさんに、居宅事業所、短期入所事業所を利用頂き、本当に有り難く思っています。また、生活支援センター「あんだんて」さんには、相談支援において、多くの場面で協力を頂いております。

障害者自立支援法改正案、さらに、準備がすすめられている障がい者総合福祉法では、障害を持つ利用者の思い、ニーズを中心にしたケア・プランを作成、実施するケアマネジメントがさらに重要とされています。「すまいる」も1事業者として、ケース会議等で席を同じくするなど連携・ネットワークを強め、障害を持つ利用者、ご家族のよりよい地域での支援を共に作っていくことが出来ればと思っています。

今後とも皆様方のご支援、ご協力のほどを何卒、よろしくお願い申し上げます。

「支援の質の磨き上げ」を目指して ～良質のチームワーク作りに向けて～

ジョブサイトよど

副施設長 佐々木 祐 介 主任 田 端 たまみ

「ジョブサイトよど」は開設して5年が経ちます。この間で、支援の質を向上することは、毎年取り上げる重要なテーマでありますし、利用者さんやご家族からも大いに期待されていることです。

今回のテーマである、「支援の質の磨き上げ」を目指して、現在取り組んでいることのいくつかを紹介したいと思います。

1. フロア会議（グループミーティング）

「ジョブサイトよど」の活動のエリアは、5階建ての建物のうち3階～5階のフロアと、外部作業場である「Jブランチ」の4つのグループに分かれています（平成22年度まで）。

それぞれのグループでは、グループリーダーを中心に個別支援計画に基づいた支援、個別の活動プログラムや授産活動を実施しています。

そして、利用者さんの支援に関することや活動プログラムの課題については、各グループで実施しているミーティングで検討しています。このグループミーティングには、現場スタッフが参加して、月2回～4回実施しています。

ミーティングでは、次のような内容について話し合いをしています。

- 「ジョブサイトよど」内の他の会議(支援員会議など)で決定したことや現場スタッフからの報告
- 個別支援計画の進行状況の確認。支援方法の振り返りと検証。
- 新しい取り組みやプログラムの検討
- スタッフに期待する役割、仕事に取り組む姿勢（チームで仕事をする重要性など）
- 各グループの方針の説明
- スタッフからの様々な意見の交換、仕事での悩みや困っている事について

このような内容について、みんなで議論をすることで、色々な視点で利用者支援などを考え

ることや、自分自身の支援方法や関わり方を振りかえることができます。また、他のスタッフの考え方や意見を聞くことで、“気づき”の機会にもなっています。



フロア会議（グループミーティング）

さらに、グループリーダーからは、個別の障害特性のことや評価の視点など専門的な立場から知識や技術を教える場にもなっているため、このグループミーティングは、現場スタッフのOJTの場面としても有効に機能していると考えています。

2. スタッフ面談

今年度より、現場スタッフと上長が1対1で面談する時間を取るようにしています。

正職員の面談は管理職が、非常勤職員の面談はグループリーダーがそれぞれ時間をとって実施しています。

内容は、利用者の個別支援に関するだけでなく、日常業務を進めていくうえで困っていることの相談や現場スタッフからの意見や提案を聞く場となっています。

これまでは、決まったテーマについて1対1で



スタッフ面談

話をする時間は、それほどありませんでしたが、実際に時間をとって話をする、一人ひとりが普段

考えていることや困っていること、また自分自身がどのような仕事をしたいのか、将来的な目標についてなど話題も多岐にわたりますし、お互いを理解するための良い機会であると感じています。

このような面談の場面を通じて、スタッフ同士の信頼関係を高めていき、よいチームワークが生まれることが、利用者さんへの支援の質の向上につながると考えています。

現状ではスタッフによって実施状況にばらつきがあるため、今後は定期的実施していただける仕組みにすることが課題としてあります。

3. スタッフ間の連携

「ジョブサイトよど」の中心的な授産事業である「よどのコロッケ」では、多くの利用者さんが仕事に関わってもらえるように仕事を作り出しています。

そのため、生活介護事業、就労継続支援B型

などの事業の違いにとらわれず、厨房内での製造等の仕事、製造したコロッケを店舗に運搬する仕事、店舗の掃除や接客の仕事などで利用者さんが関わっている、各スタッフ（厨房スタッフ・店舗スタッフ・利用者担当スタッフ）が連携しながら支援をしていく必要があります。

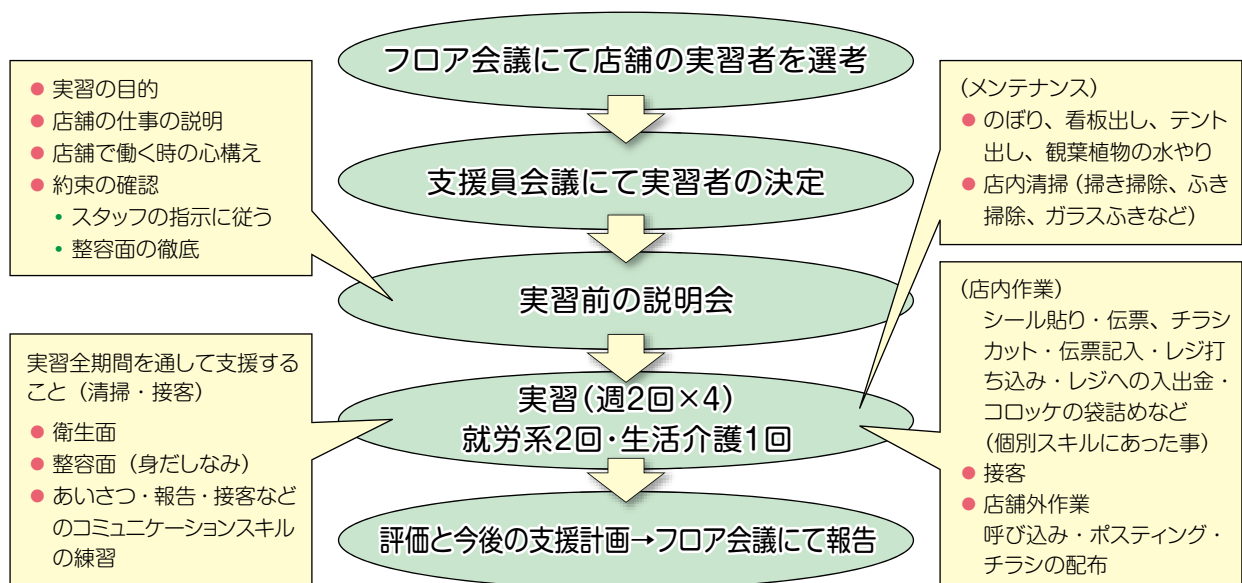
例えば、店舗の掃除や厨房での調理の仕事は、まず利用者さんに実習から始めてもらいます。実習フローチャート(図1)に沿って、利用者担当スタッフも一緒に清掃や調理の仕事に入り、その現場で実習を行い、店舗スタッフや厨房スタッフと共に実習後に振り返りを行います。店舗及び厨房スタッフと利用者担当スタッフが同じ評価表を基に評価します。連携が大事なところです。

また、コロッケの商品開発や販売方法についても、「ジョブサイトよど」のスタッフ全員でアイデアを出し合う時間を作って、そこで出てきたアイデアを商品開発や販売に活かしています。このような取り組みを通じて、スタッフが積極的に業務に関わる姿勢をもち、意識が向上するといった効果があると考えています。

今回紹介した取り組みは、スタッフ同士の信頼関係を高めて、よいチームワークを作っていくことによって、「支援の質の磨き上げ」を目指しているものです。

今後もこのような取り組みを続けていきたいと思っています。

(図1) 実習フローチャート



「ノースカロライナ州での研修報告」

～ ノースカロライナ大学チャペルヒル校 TEACCH 部における 自閉症スペクトラムの人たちへの就労支援 ～ **その1**



ジョブジョイントおおさか
副施設長 **高橋 亜希子**

私は、発達障害のある人の就労支援に携わり5年になります。はじめは、手探り状態で何をどんな風にして就労への支援をしていけばいいのかよくわからなくて、いろんなところへ研修に行かせていただきました。少しずつ経験していくにつれ「どんな支援や、社会的なしくみがあれば発達障害のある人たちが長く働き続けることができるのか、あるいは社会参加の機会を増やしていけるか」という疑問がわき「海外での事例を見てみたい」と思ったのがこの度の海外研修のきっかけとなりました。発達障害のある人たちが地域で生き生きと働いている現場を見て、そのしくみを学びたいと考え、社会福祉法人清水基金の海外研修制度に応募し、海外研修を受けるチャンスをいただくこととなりました。

2010年4月18日に日本を出発し、約2週間シカゴ大学で米国の障害福祉についての事前研修を受けました。4月下旬にノースカロライナ州チャペルヒルに降り立ち、7月中旬までの約3ヶ月、ノースカロライナ大学チャペルヒル校TEACCH部サポートドエンプロイメント（援助付き雇用）プログラムでの研修を受けてきました。留学中、体験した記憶は新鮮なうちにアウトプットをしないと、毎週法人関係者やこれまで就労支援でお世話になっていた関係機関のみなさんに気の向くままレポートを送信しました。その内容とも重複することがあるかと思いますが、今回機関紙の連載企画ということで、4回にわけて報告させていただきます。1回目は、研修の動機とTEACCHが提供するサポートドエンプロイメントプログラムの概要について報告します。

すでに「TEACCHといえばノースカロライナ州」「ノースカロライナ州といえばTEACCH」で、ご存じの方も多いかと思いますが、ノースカロライナ州

には地域に9つのTEACCHセンターがあります。各TEACCHセンターでは「診断と療育」「アセスメント（評価）」「コンサルテーション」「トレーニング（専門職のための研修）」「研究」を中心に行っていますが、各センターによって若干特色が異なります。中でも、私が研修を受けたチャペルヒルTEACCHセンターは、本部機能を持ち「支援モデル」の発信を行っています。その「支援モデル」は、自閉症の子どものための「プリスクール」のモデル、就労支援モデルのサポートドエンプロイメントプログラム、生活支援モデルとしてCLLC（カロライナリビング&ラーニングセンター）があります。4回の連載の後半でCLLCについても触れたいと考えています。

TEACCHでのサポートドエンプロイメントプログラムの歴史は1979年に遡り、青年期・成人期のサービスとして開始されました。その第1号は、ノースカロライナ大学チャペルヒル校の図書館でジョブコーチ支援をつけて就職したのが最初です。その後80年代にかけてTEACCH独自で進めていきましたが、米国全体としても障害者就労・職業

TEACCHとは、Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children の略であり「自閉症およびそれに関連するコミュニケーション障害の子どものための治療と教育」を意味し、ノースカロライナ大学チャペルヒル校医学部精神科教授であったエリック・ショプラーが開発した自閉症スペクトラムの人と、その家族、教師や支援者、雇用主など自閉症スペクトラムの支援者を目指す専門家を対象にする包括的プログラムである。

1972年以降は、成人へのサービスも含め自閉症スペクトラムの子どもから成人までの支援サービスを展開し、ノースカロライナ州の公式プログラムとなった。TEACCHの目的は、「自閉症スペクトラムの人が地域社会の中で豊かに暮らし、そしてできるだけ自立した行動ができるように支援すること」とある。

リハビリテーションを推進していく風潮が高まり「ジョブコーチ制度(注1)」が整備され、1989年からノースカロライナ州職業リハビリテーションサービスとノースカロライナ自閉症協会の協力のもと、TEACCHの「サポーテッドエンプロイメントプログラム」が誕生しました。

サポーテッドエンプロイメントプログラムの目的は、「自閉症スペクトラムの人ができるだけ自立した職業人として貢献できるように、自閉症スペクトラムの人にとって予測可能な職場環境を提供すること」とあります。自閉症スペクトラムの人にとって、仕事の内容もさることながら環境調整は非常に重要な要素であり、そのことについても下記のようにまとめられています。

「はっきりとした業務内容であるかどうか」

「個別のニーズによって構造化(注2)を適応させることができるかどうか」

「雇用主と同僚が自閉症を学ぶことや本人がうまくいきやすい環境を作りだすことを受け入れてくれるかどうか」

「その職場がその人の強みを発揮できる可能性があるかどうか」

そして、上記に加えTEACCHのサポーテッドエンプロイメントプログラムの成功に起因するもうひとつの要素が、自閉症スペクトラムの人の個別に応じたさまざまな就労形態で支えていることです。

就労支援の形態には下記のように4つの形態があります。

就労形態	説明
モービルクルーモデル	利用者とジョブコーチ（以下JC）の複数名のクルーで、移動して作業を行う形態。ハウスクリーニング（家の清掃）が中心。かつては芝生の手入れもあったそう。
エンクレーブモデル	日本的にいうとグループ就労の形態。同じ場所で複数名の利用者が仕事をし、JCの1名が常駐している。（JCは、2～3名で入れ替わる）
1対1モデル	利用者とJCの1対1での就労形態。
個別就労モデル	文字通り、利用者が一人で働いている形態。ロングタームサポート（長期間にわたる支援）の対象となる。

これらのことが高い定着率（1年間雇継続が85%）にもつながっています。

それともう1点強調すべきは個別就労モデルのロングタームサポート（長期間にわたる支援）です。長い人で20年就労を継続していると聞き、驚きました。この長期間、決して一人のジョブコーチが支え続けてきた訳ではなく、もちろんジョブコーチは入れ替わっています。それでも雇用が継続されているのは「人」のみではなく「人としくみ」で支えているのだと感じました。現在は、チャペルヒルを中心とした半径50マイルのエリアで8名のジョブコーチ体制で、約100名の方の就労を支えています。

今回は、サポーテッドエンプロイメントプログラムの実際を報告します。

(注1) ジョブコーチ…現在日本でもジョブコーチまたは「職場適応援助者」と言われ、職場（企業）と障害のある人の橋渡しをする役割で、障害のある人に一定期間つきそって職場へ行き、自立して業務遂行ができるように支援する。また、障害のある人を雇う職場（企業）の相談役でもある。

(注2) 構造化…自閉症の人にとって、目で見えてわかりやすくするための指示・明瞭化・組織化などのアイデアや工夫。



チャペルヒル TEACCH センター



ノースカロライナ大学チャペルヒル校のシンボル「オールドウェル」



ノースカロライナ州アッシュビルの景勝地「チムニーロック」

掲 示 板 コ ー ナ ー

(平成 22 年 12 月から平成 23 年 2 月まで)

法人本部総務部掲示板

- | | | | |
|--------|-------------------------|-----|-----------------------|
| 12月 6日 | 経営会議 | 22日 | 運営会議 |
| 7日 | 大阪府行政監査 | | ジョブサイトひむろとぶれいすBeの連携の件 |
| 17日 | 平成 23 年度職員採用試験 | | 来年度のOT 職員の採用の件 |
| 20日 | 総務会議 | | 法人研修の件 |
| | CoMedixの勤怠管理について | 23日 | 総務会議 |
| 21日 | 運営会議 | | インターネットバンキングの件 |
| | 平成 23 年度に向けた人事の件 | | 雇用契約更新の件 |
| | 平成 23 年度研修の件 | 27日 | 理事評議員会 |
| | 授産活動の現状と今後の方向の件 | | 第1号議案 新事業開始の件 |
| 24日 | 平成 23 年度職員採用面接 | | 第2号議案 ジョブサイトよど定員変更の件 |
| | | | 第3号議案 ジョブサイトひむろ定員変更の件 |
| | | | 第4号議案 新ケアホームの件 |
| 1月 4日 | 経営会議 | | 第5号議案 施設長・部長人事の件 |
| 11日 | 理事会 | 28日 | 臨時経営会議 |
| | 第1号議案 新ケアホームの事業承認の件 | | |
| 15日 | 第1回管理職研鑽会 | | |
| | 会場 高槻現代劇場 集会室 306 号 | | |
| | 事業の目的・目標・ビジョン | | |
| | 戦略マネジメント 組織マネジメント | | |
| 25日 | 運営会議 | | |
| | 理事長年度方針の件 | | |
| | インフルエンザ発症時の対応の件 | | |
| | 療育支援事業の件 | | |
| 26日 | 総務会議 | | |
| | CoMedix 勤怠管理の件 | | |
| | 本部、事業所の業務分担について | | |
| 2月 5日 | 第4回法人研修 | | |
| | 会場 高槻現代劇場 集会室 305 号 | | |
| | 全体研修 「障害のある犯罪被害者の現状と課題」 | | |
| | 分科会1 社会福祉法人経営 分科会2 就労支援 | | |
| | 分科会3 自閉症の支援 分科会4 医療 | | |
| 7日 | 経営会議 | | |
| 19日 | 第2回管理職研鑽会 | | |
| | 会場 高槻現代劇場 集会室 306 号 | | |
| | 問題解決のアプローチ | | |
| | ルールとガイドライン サービスについて | | |



法人初の管理職研鑽会を、部長、副部長、副施設長対象に実施いたしました。
講師の株式会社キャリア・フォース 代表取締役 平山智一様、積水化学工業株式会社 CSR部人材開発グループ長 清田研様にご協力をいただき、今後の法人管理職としての「組織マネジメント」の共通理解・認識を深めることができ、大変有意義な研鑽会となりました。お二人には、大変ご多忙の中お力添えいただき、厚く御礼申し上げます。

(佐々木寛 記)

萩の杜 掲示板

- | | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|-----------------------|
| 12月 1日 | 施設見学 (3名)・精神科相談 | 2月 1日 | 萩の杜 社会議・療育手帳更新検査 (1名) |
| 3日 | 美化の日 | 3日 | 精神科相談 |
| 7日 | 大阪府実地指導・高槻市指導監査 | 4日 | 美化の日 |
| 10日 | 日帰り旅行 (滋賀県ホテルレイクヴィラ) | 16日 | 日帰り旅行 (雄琴温泉) |
| 13日 | 散髪 (Cg)・療育手帳更新検査 (2名) | 17日 | 精神科相談・萩の杜運営会議 |
| 14日 | 萩の杜 社会議 | 21日 | ケース報告会 |
| 16日 | 精神科相談 | 28日 | 安全対策委員会 |
| 17日 | 萩の杜運営会議 | | |
| 20日 | 安全対策委員会 | | |
| 23日 | クリスマス忘年会 | | |
| 27日 | ケース報告会 | | |
| 29日 | 冬期帰省期間 (～1月3日) | | |
| 1月 6日 | 精神科相談・実習生1名受入 (園田学園女子大学より1名・～16日まで) | | |
| 7日 | 避難訓練・実習生1名受入 (佛教大学より1名～2月4日まで)・美化の日 | | |
| 11日 | 萩の杜 社会議 | | |
| 13日 | 施設見学 (11名) | | |
| 17日 | 障害程度区分認定調査 (2名) | | |
| 19日 | 障害程度区分認定調査 (4名)・精神科相談 | | |
| 21日 | 萩の杜運営会議 | | |
| 24日 | ケース報告会 | | |
| 26日 | 障害程度区分認定調査 (1名) | | |
| 28日 | 家族会定例会・ホットトークタイム | | |
| 31日 | 療育手帳更新検査 (4名) | | |



12月23日に各グループにおいて恒例の「クリスマス忘年会」を開催しました。各グループで企画と運営をおこない、ご利用者の皆様とこの1年をねぎらい楽しいひと時を過ごしました。

(下 記)

ジョブサイトひむろ 掲示板

- | | | | |
|--------|---|-------|--|
| 12月 2日 | そうぞう4②グループレクリエーション
マイクロバスにて、京都の梅小路公園へ | 23日 | 祝日開所日
「利用者忘年会」をジョブサイトひむろにて開催 今年2部制
1部 豪華幕の内弁当の昼食会
2部 皆さんの発表や出し物 |
| 7日 | そうぞう3①グループレクリエーション
公用車にて堺市のハーベストの丘へ | 27日 | 折りコン②グループレクリエーション
公用車にて外食へ |
| 9日 | 大阪府より実地指導
担当者の方3名が来所、「おおむね良好な運営」との評価 | 28日 | 「慰労会」グループごとに茶話会形式で |
| 11日 | 土曜カフェ開所日 | 冬期休暇 | 12月29日(水)～1月3日(月)まで
12月見学者・来訪者 16組 20名
12月実習生 2名 延べ4日間
12月ボランティア 1名 延べ2日間 |
| 14日 | エアロビクス
ジョブサイトひむろ職員勉強会
テーマ「おいしく『食べる』ことを支援するために」
講師 ジョブサイトひむろ 津堅スタッフ | 1月 8日 | 土曜カフェ開所 |
| 16日 | 療育グループ②グループレクリエーション
JRを利用し、京都駅前の新阪急ホテルにて昼食 | 10日 | 祝日開所日
就労レクリエーション
公共交通機関を利用し「キッズプラザ大阪」へ |
| 17日 | ジョブサイトひむろ会議
業務に関わる各種マニュアルの確認 | 11日 | 陶芸グループレクリエーション |

- JRを利用し京都駅に行き、京都タワーホテルで昼食
- 13日 療育②グループプレクリエーション
市バスを利用し高槻センター街のカラオケ店へ
- 18日 エアロビクス
ジョブサイトひむろ職員勉強会
テーマ「ショートステイやガイドヘルパー」
講師 平野施設長
- 19日 そうぞう3グループプレクリエーション
マイクロバスに乗車し、ラウンドワンにてボウリング
- 20日 そうぞう4①グループプレクリエーション
公共交通機関を利用してNHK大阪放送会館へ
- 21日 ジョブサイトひむろ会議
参加職員全員で、平成23年度の事業計画にむけて、SWOT分析を実施
- 22日 平成22年度第2回利用者健診（香川クリニック様）
ジョブサイトひむろにて健診を実施
就労メンバーレクリエーション
徒歩により、近くのレストラン等で夕食
- 24日 エアロビクス
1月見学者・来訪者 9組 12名
1月職員体験実習 1名 延べ2日間
- 2月 1日 エアロビクス
- 3日 そうぞう2①グループプレクリエーション
公用車にて昆陽池公園へ
- 4日 洗濯グループプレクリエーション
公用車にて香里園のアルプラザへ
- 7日 折りコンレクリエーション
サニースポット様の喫茶でランチ
- 8日 グリーン特別養護老人ホームメンバーレクリエーション
アフターファイブに時間を利用して、夕食（焼肉）に行きました。
- 11日 祝日開所
就労メンバーレクリエーション
マイクロバスと公用車にて、東映太秦映画村へ
- 15日 エアロビクス
- 16日 ジョブサイトひむろ職員勉強会
テーマ「自閉症の文化と構造化」
講師 湯岡スタッフ
- 18日 音楽療法
ジョブサイトひむろ会議
参加職員全員で、平成23年度事業計画を検討
- 21日 エアロビクス
- 25日 療育グループプレクリエーション
高槻京都ホテルにてランチ
2月見学者・来訪者 12組 36名
2月体験実習（高槻支援学校様）1名延べ1日間
2月実習生 2名延べ4日間
- （平野 記）

発達障害支援部掲示板

○大阪自閉症支援センター

- 保護者研修 実践講座 3回実施
フォローアップ講座 3回実施
自立課題講座 1回実施
- 和泉市教育委員会
巡回相談（幼稚園2回、小学校2回）
テーマ別研修1回
- 高槻市教育委員会
巡回相談（小学校2回、中学校2回）
- 摂津市教育委員会
巡回相談（幼稚園2回、小学校3回）
- 泉大津市教育委員会
巡回相談（小学校2回）実践報告会1回
- 豊能町教育委員会
巡回相談（小学校2回）
- 四條畷市教育委員会
巡回相談（小学校2回）
- 講師派遣
島本町支援教育研究協議会 大阪保護観察所
関西医科大学附属滝井病院
高槻市二中学校区教職員研修会 豊中市手をつ

なぐ親の会 大東市障害者自立支援ネットワーク 松原市青少年会館

- 大阪府委託研修（大阪府発達障がい指導員等養成研修事業）
- 保健師研修 1月17日 1月28日実施
指導員・心理士研修 2月4日実施
保育士研修 連続講座 1月17日実施
テーマ別研修 1月31日 2月14日実施

○アクトおおさか

- 12月 2日 大阪府第4次障がい者計画第6回検討委員会 出席
3日 大阪府発達障がい者支援体制整備検討委員会 出席
10日 第5回就労準備ガイダンス実施
12日 第2回本人グループミーティング実施
13日 成人期家族グループ下期 第1回実施
- 1月 7日 発達障害者支援センター全国連絡協議会役員会 出席
13日 大阪府第4次障がい者計画第7回検討委員会 出席

- | | | | |
|-------|----------------------------|-----|-----------------------------|
| 14日 | 第6回就労準備ガイダンス実施 | 15日 | 大阪府第4次障がい者計画第8回検討委員会出席 |
| 19日 | 第3回本人グループ実施 | 16日 | 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会子ども部会出席 |
| 21日 | 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会成人部会出席 | 23日 | 所内ケース会議（スーパーバイザー 山下仰先生） |
| 28日 | 第7回就労準備ガイダンス実施 | 28日 | 大阪府成人期相談機関連絡会 出席（事務局） |
| 2月 3日 | 発達障害者就労支援者育成セミナー出席 | | |
| 14日 | 成人期家族グループ下期 第2回実施 | | |

（新澤 記）

発達障害児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

- 12月 3日 保護者研修実践A
 10日 保護者研修実践B
 17日 保護者研修入門
 21日 療育終了
 29日 年末年始休業（～1月3日）

- 1月 7日 療育開始
 14日 保護者研修実践A
 21日 保護者研修実践B
 28日 保護者研修入門A

- 2月 5日 保護者研修入門
 8日 個別支援計画ミーティング（～19日）
 12日 保護者研修実践A
 19日 保護者研修実践B
 26日 保護者研修入門

○自閉症療育センター will

- 12月 1日 保護者研修A
 8日 保護者研修B
 15日 平成21年度終了保護者実践・交流会
 22日 大阪府療育事業ネットワーク会
 29日 年末年始休業（～1月3日）

- 1月 6日 療育開始

- 12月 保護者研修A
 19日 保護者研修B

- 2月 2日 平成21年度終了保護者実践・交流会
 9日 保護者研修A
 16日 保護者研修B

○自閉症療育センター Link

- 12月 2日 保護者研修実践A
 9日 保護者研修実践B
 21日 療育終了
 22日 大阪府療育事業ネットワーク会
 29日 年末年始休業（～1月3日）

- 1月 5日 療育開始
 13日 保護者研修A
 20日 保護者研修B

- 2月 3日 平成21年度終了保護者実践・交流会
 10日 保護者研修A
 17日 保護者研修B

（谷岡 記）

ジョブサイトよど掲示板

- 12月 1日 施設見学（2名：川崎医療福祉大）
 2日 全国日中活動支援部会職員研修会（利用者5名が受付手伝いで参加）
 7日 エアロビクス（生活介護）
 8日 職員研修（人権について）
 10日 よど運営会議/生活介護会議
 13日 支援員会議
 16日 よどのコロケ会議
 17日 十三地区管理職会議
 18日 土曜開所日（クリスマス会）
 20日 施設見学会（10名）/よど祭り実行委員会
 21日 エアロビクス（生活介護）、給食会議

- 22日 大阪府・大阪市実地指導
 24日 よど運営会議/生活介護会議
 27日 支援員会議
 28日 慰労会

- 1月 7日 よど運営会議/生活介護会議
 11日 成人のお祝い（3名）/エアロビクス（生活介護）
 13日 淀川区自立支援協議会定例会
 14日 十三地区等管理職会議
 19日 施設見学会
 21日 施設見学（30名：大阪知的障害者福祉協会日中活支援部会）

- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 22日 | 土曜開所日（海遊館） | 10日 | よど運営会議/生活介護会議 |
| 24日 | よど祭り実行委員会/支援員会議 | 14日 | 施設見学会（13名）/支援員会議
大阪樟蔭女子大学大学院より7名見学実習
（～15日） |
| 25日 | 体験実習生の受け入れ（～27日 十三中学校
より1名）
エアロビクス（生活介護） | 18日 | 十三地区等管理職会議 |
| 26日 | 給食会議 | 19日 | 土曜開所日（よど祭り） |
| 28日 | よど運営会議 | 21日 | Jランチ移転のため引っ越し |
| 2月 | 2日 利用者健康診断 | 22日 | エアロビクス（生活介護） |
| | 7日 よど祭り実行委員会 | 23日 | 給食会議 |
| | 8日 施設見学（6名：社会福祉法人 福成会）/エ
アロビクス（生活介護） | 24日 | 歯科検診/よど運営会議/生活介護会議 |
| | | 28日 | 施設見学会（4名）/支援員会議

(佐々木祐 記) |

ぷれいすBe 掲示板

- | | | | |
|--------|-----------------------------------|--------|--------------------------------|
| 12月10日 | 高槻市内の事業所より、実習を受け入れ | 25～26日 | 重症心身障害のある方への短期入所サービス
実施 |
| 13日 | 大阪府実地指導
「おおむね良好な運営」との評価 | 29日 | Cafe Beにてコンサート実施 |
| 20日 | 施設見学会 | 2月 | |
| 24日 | 施設見学会
冬期休暇 12月29日(水)～1月3日(月)まで | 17～18日 | 実習生2名受入（兵庫医療大学リハビリテー
ション学部） |
| 1月7～8日 | 重症心身障害のある方への短期入所サービス
実施 | 19日 | Cafe Beにてコンサート実施 |
| 11日 | 成人の日のお祝い 対象者 20名 | 21日 | 1階廊下、カフェ部分のワックス塗布 |
| 11～14日 | 来年度法人採用予定職員1名が実習 | 26日 | Cafe Beにて地元子供会のパーティー実施 |
| 21日 | 自立訓練事業に関する厚生労働省研究の現地
調査に対応 | | (水藤 記) |

萩の杜家族会 掲示板

- | | | | |
|--------|--|-----|--|
| 12月11日 | イオン黄色レシートキャンペーン活動 | 28日 | 安全対策委員会
ヒヤリ、ハット報告。保護者からの利用者の
怪我、体調等についての報告 |
| 20日 | 安全対策委員会
ヒヤリ、ハット報告0件。初めての成果であ
り、今後とも継続していきたい。 | | (植松 記) |
| 1月12日 | 広報部活動
機関紙1094部発送。 | | |
| 27日 | 萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイト
よど、ぷれいすBe家族会会長懇談会
各家族会の会員から施設への意見、苦情等
についての意見交換
サークル萩
お母さん方の情報交換と、手作り品の作成。 | | |
| 28日 | 定例会
ケアホームの進捗状況報告、安全対策委員会
報告、法人の動き等。 | | |
| 2月11日 | イオン黄色レシートキャンペーン活動 | | |
| 24日 | サークル萩 | | |



サークル萩の活動風景

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

- | | |
|---|---|
| <p>12月17日 家族会定例会
議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ジョブサイトひむろからの報告 2. 法人からの報告 3. ケアホーム進捗状況 4. ケアホーム入居希望者の会について 5. 役員改選について 6. よどのコロッケ試食 <p>1月18日 役員会
議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定例会開催日時決定 2月1日(火) 2. 役員改選について
副会長 三宅さん ⇒ 後任 林さん
事務局 永田さん ⇒ 後任 妹尾さん
会 計 梁さん ⇒ 後任 明定さん 3. 家族会会長会議決定 1月27日(木) 4. 総会日程決定 4月4日(月) 5. 事務局連絡先の法人への登録の件 6. 父親会の件 2月20日(日)現代劇場 | <p>2月1日 家族会定例会
議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアホーム入居最終確認
申込書・承諾書の件 2. 役員改選締切 2月25日(金) 3. 父親会 2月20日(日)現代劇場 4. 法人からの報告 5. ジョブサイトひむろからの報告 6. 総会開催 4月4日(月) <p>20日 父親会開催
出席者 父親12名 法人7名 市役所2名
計21名</p> <p>27日 法人評議員会</p> <p>3月7日 役員会
議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総会資料作成 2. 役員交代
3月22日(火)より引き継ぎ開始
4月4日(月)の総会にて承認
(豊澤 記) |
|---|---|

ジョブサイトよど家族会掲示板

- | | |
|---|--|
| <p>12月2日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会
参加。(会長、運営委員2名)</p> <p>6日 家族会役員会開催。100円喫茶実施</p> <p>7日 オアシス役員会で100円喫茶実施</p> <p>13日 十三市に参加
オアシスサロンで100円喫茶実施</p> <p>12月定例会開催 会員22名。松上施設長、
佐々木副施設長出席</p> <p>100円喫茶実施</p> <p>勉強会「松上施設長より行政の状況など」</p> <p>20日 よどまつり実行委員会実施</p> <p>24日 大阪府発達障害団体ネットワークとJDD
ネット大阪が大阪府へ訪問(会長)</p> <p>1月13日 十三市に参加</p> <p>17日 オアシスサロンで100円喫茶実施</p> <p>18日 オアシス役員会で100円喫茶実施</p> <p>24日 家族会役員会、よどまつり実行委員会実施。
100円喫茶実施</p> | <p>26日 勉強会、北摂杉の子会スーパーバイザー中山
清司氏より
「自閉症協会全国大会で話された『就労支援
最前線』を講義(参加11名)</p> <p>27日 法人の家族会会長懇談会に参加</p> <p>2月4日 デイサービスanの保護者研修会で100円喫茶
実施</p> <p>7日 家族会役員会開催。100円喫茶実施</p> <p>11日 オアシス役員会で100円喫茶実施</p> <p>18日 児童デイサービスanの保護者研修会で100円
喫茶実施
よどまつり最終打ち合わせ。(田端主任指導
員、会長、運営委員)</p> <p>19日 よどまつり。寄席、喫茶、バザーを担当</p> <p>21日 オアシスサロンで100円喫茶実施</p> <p>27日 北摂杉の子会理事評議員会参加(会長)</p> <p>(福田 記)</p> |
|---|--|

ぶれいすBe家族会掲示板

- | | | |
|--------|---|--|
| 12月 9日 | 第1期第9回役員会
会員へのアンケートの実施を決定（文書発送）
次期役員候補公募を決定（文書発送）
ショートステイの現状について
就職等につき退所（退会）された方の退会届
の用紙について
その他 | ジョブサイトよど 佐々木副施設長、田端主
任より
「よどのコロッケ」の販売についての説明
その他 |
| 28日 | 会員の方々の寄附手続きに伴い、352万円を一
括して法人に送金 | 27日 家族会会長懇談会（法人本部にて）出席（本城） |
| 1月 13日 | 第1期第10回役員会
昨年末に送金した寄附金についての確認
回答いただいたアンケートの内容を確認、次
回役員会までに集計
「成年後見制度勉強会」の概略打ち合わせ
次期役員候補応募状況確認
家族会入会申込書の一部改訂について | 2月 10日 第1期第11回役員会
アンケート集計結果の確認—来期政策に活用
「成年後見制度講座」の開催を3月15日と決
定、当日案内状を発送
次期役員候補を内定
定期総会の日時を4月23日（土）10時～12
時と決定
その他 |
| | | 20日 ジョブサイトひむろ家族会父親会に勉強のため
に出席（本城、斉藤） |
| | | 27日 北摂杉の子会評議員会に出席（本城）
（本城 記） |

大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシス掲示板

- | | | | |
|--------|--------------------------------|-------|-------------------------|
| 12月 7日 | 12月度役員会 | 25日 | 平成23年度 an療育児募集説明会（会長参加） |
| 12日 | 就労体験 | | |
| 13日 | オアシス・サロン | 2月 9日 | 施設見学会（三洋商事株式会社） |
| 24日 | 大阪府地域生活支援課長との懇談（相談
役・前会長参加） | 11日 | 2月度役員会 |
| | | 19日 | バザー開催（よどまつりにて） |
| | | 21日 | オアシス・サロン |
| 1月 17日 | オアシス・サロン | | （前野 記） |
| 18日 | 1月度役員会 | | |

北摂杉の子会後援会掲示板

<近況報告>

本会の活動に対し、萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ぶれいすBeの家族会を含む多くの方々のご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

（会員数）

- 2010年12月
個人会員：529名
団体会員：12団体 合計：541名／団体
寄付：なし
- 2011年1月
個人会員：534名
団体会員：12団体 合計：546名／団体
寄付：2件

- 2011年2月
個人会員：538名
団体会員：12団体 合計：550名／団体
寄付：2件

<連絡事項>

- 2011年1月、監査役による会計監査（中間）
（棚山 記）

ボランティアに感謝いたします訂正文

<おわびと訂正>

前号20ページ「ボランティアに感謝いたします。」にて『松岡洋市』を誤って『松岡洋一』としておりました。（敬称略）
ここにお詫びして訂正申し上げます。

□法人へのご寄付に感謝いたします。(2010年12月1日～2011年2月28日)

河端 良一 田口 和人 植松 芳哲 不二園芸 森田 弘 中村 節史 永田 啓子
大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシス カトリック高槻教会 福田 啓子

□後援会入会と会費納入に感謝いたします。(2010年12月1日～2011年2月23日)

林 秀郎 中村義昭 蘆田康子 中尾泰子 本間和子 小野明子 行成章子 降幡宏子 小林美代子 黒田節子 林 智恵
伊藤 茂 中井淑子 中村 操 藤岡 宏 藤岡紀子 南 俊一郎 南 直美 南 雄太 稲井由沙子 柏木美智恵 軽込 昇
富宅由美子 下川八重子 植松芳哲 植松登志子 植松正機 植松信機 植松里枝 植松小遥 植松小絢 赤尾浩子 白倉俊雄
南 昌子 南 浩聡 中川まどか 津田敬子 平田 実 平田登代子 三田智子 矢橋雅文 矢橋 文 矢橋美智子 有田義輝

□後援会へのご寄付に感謝いたします。(2011年1月11日～2011年2月10日)

植松芳哲 橋川靖子 柏原紀男 中川まどか

□家族会へのご寄付に感謝いたします。(2010年12月1日～2011年2月28日)

出口幸平 植松 本田 ほか弁茨木園田店

□物品のご提供に感謝いたします。(2010年12月1日～2011年2月28日)

荒木 池田敬子 河島妙子 白木 仲出 中津川勝彌 松尾 米奥 山木 山口多恵子 不二園芸 岡田公子 今村

□ボランティアに感謝いたします。(2010年12月1日～2011年2月28日)

前田龍秀 草刈茂代 中田直也 畠山あすか ほか弁茨木園田店 今村美佐代 沢田幸子 鳥村 剛 木原 かおり 後藤 純子
野崎 幸一 坂井 真由美 西本 愛 奥島 勝敏 田頭 悠子 花野 愛

(敬称略 順不同)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで、もしくは、同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史 口座番号：5085555

□ 社会福祉法人北摂杉の子会法人本部事務所
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402
TEL (072) 662-8133 FAX (072) 662-8155
[E-Mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com

□ 知的障害者生活施設萩の杜
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] haginomori@suginokokai.com

□ 萩の杜ショートステイセンターぶれす
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0844 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] breath@suginokokai.com

□ ケアホームとんだ
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14101号室

□ ケアホームみやた
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1105号室

□ ジョブサイトひむろ
(就労移行支援・生活介護・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL & FAX (072) 697-2234
[E-Mail] himuro@suginokokai.com

□ 高槻地域生活支援センターぶれいす Be
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072) 681-4700 FAX (072) 681-4900
[E-Mail] placebe@suginokokai.com

■ 生活支援センターあんだんて
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072) 681-4755 FAX (072) 681-4900
[E-Mail] andante@suginokokai.com

□ 高槻障害者地域移行支援センターだ・かーぼ
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072) 681-4755 FAX (072) 681-4900
[E-Mail] da-capo@suginokokai.com

■ 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目18-12 イトウビル1F
TEL (06) 6100-3003 FAX (06) 6100-3004
[E-Mail] act-osaka@suginokokai.com

□ 自閉症療育センターwill
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072) 662-0100 FAX (072) 662-0056
[E-Mail] will@suginokokai.com

□ 自閉症療育センターLink
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3階
TEL (072) 841-2411 FAX (072) 841-2412
[E-Mail] link@suginokokai.com

□ ジョブサイトよど(生活介護・就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-7007 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] yodo@suginokokai.com

□ ジョブジョイントおおさか(就労移行支援・自立訓練)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目9-8 十三東ビル2F
TEL (06) 6100-0150 FAX (06) 6100-0150
[E-Mail] jj@suginokokai.com

□ 大阪自閉症支援センター
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL & FAX (06) 6100-0282
[E-Mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp

□ 児童デイサービスセンターa n
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] an@suginokokai.com [URL] http://oasc.jp

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 中村節史 発行所 北摂杉の子会 住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2011年4月10日 定価 100円